

令和 5 年度

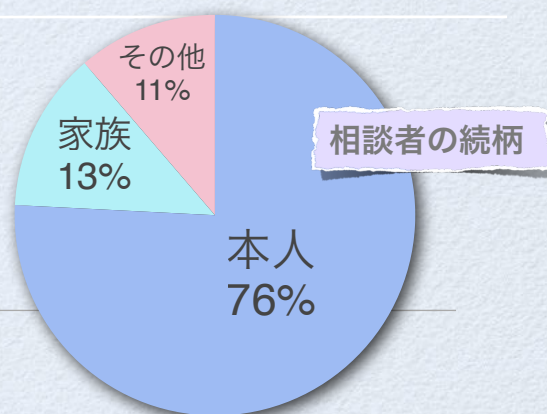
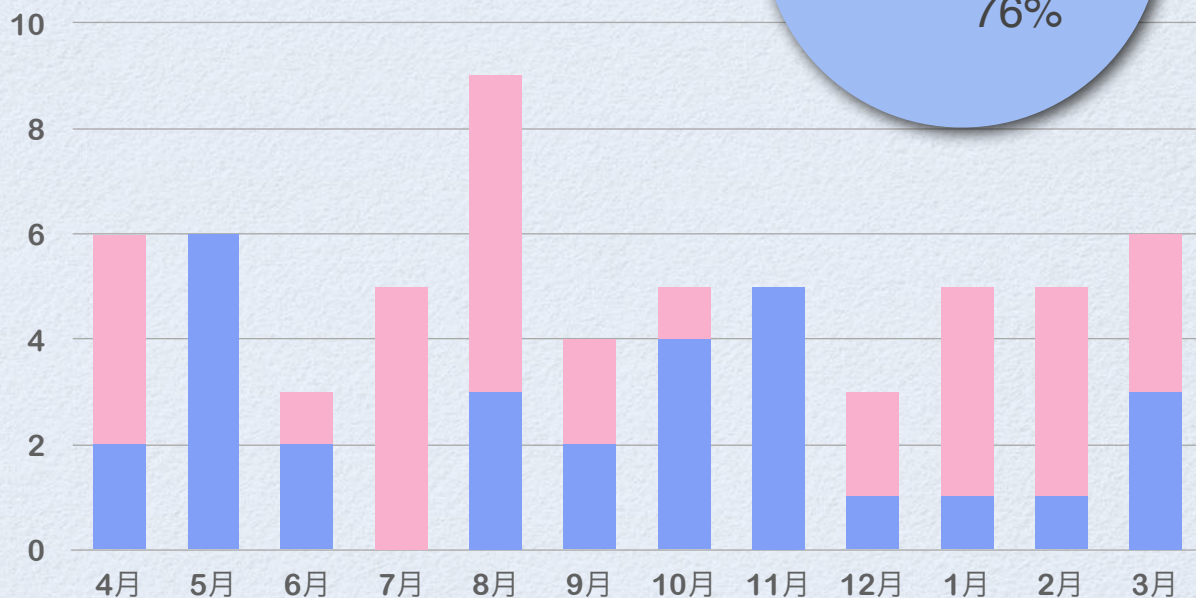
肝疾患診療連携拠点病院業務の実績について

相談状況 –令和5年度– (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

相談数 計62名

● 月別相談数

(人) ■ 男性 ■ 女性

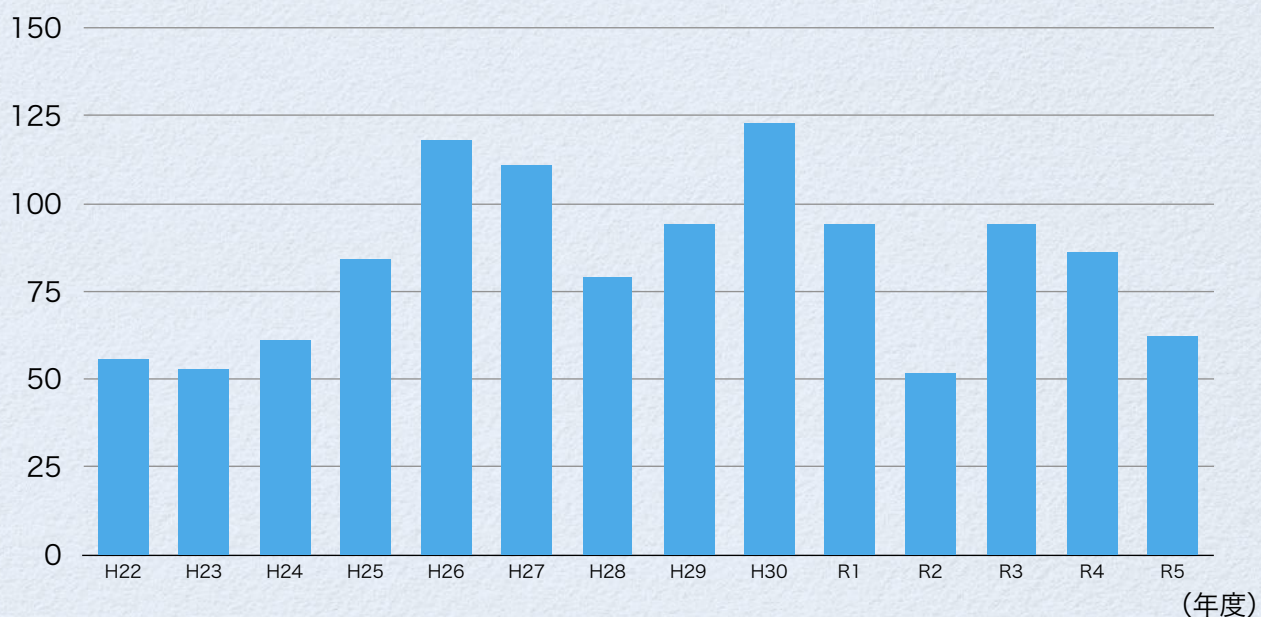


相談件数 –平成22年度～令和5年度–

総相談数 計987

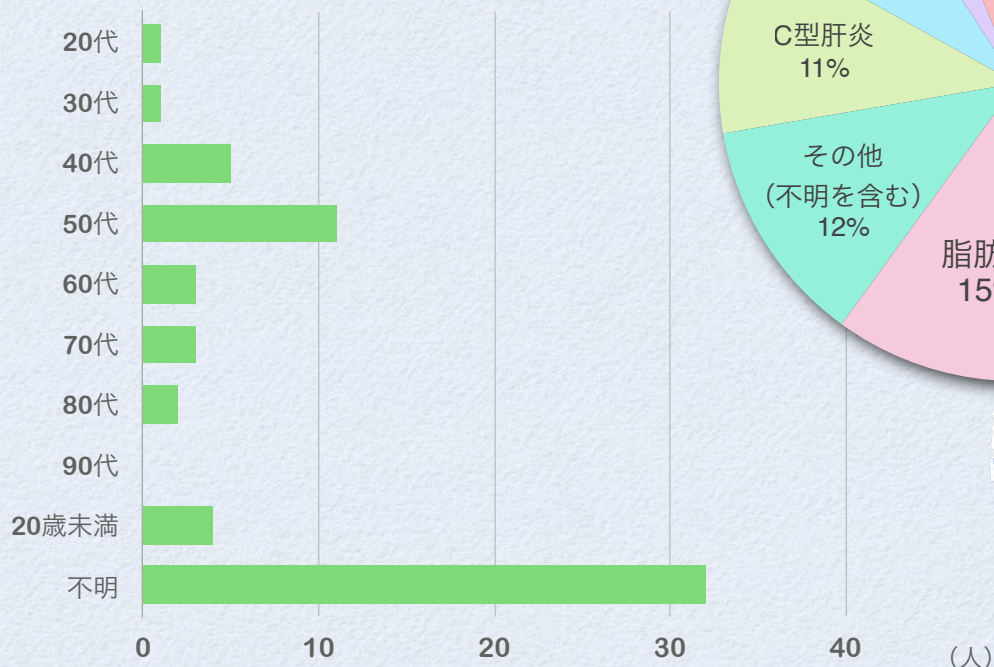
● 年度別相談数

(人) ■ 相談件数

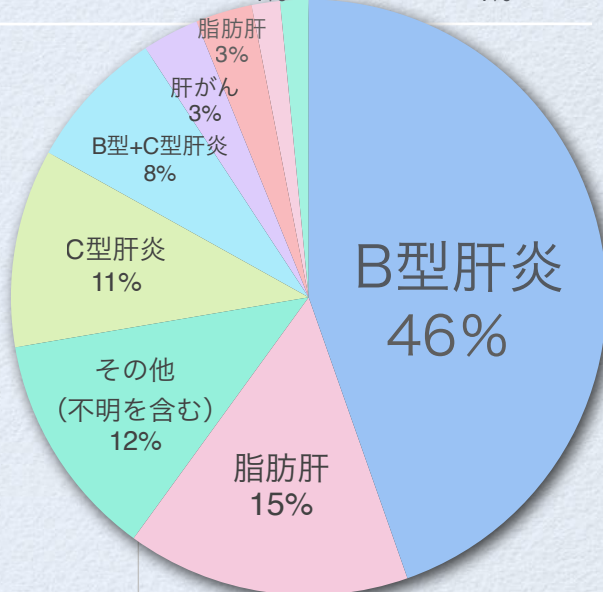


相談内訳 -令和5年度-

相談患者の年齢



原発性胆汁性胆管炎 1% アルコール性肝障害 1%



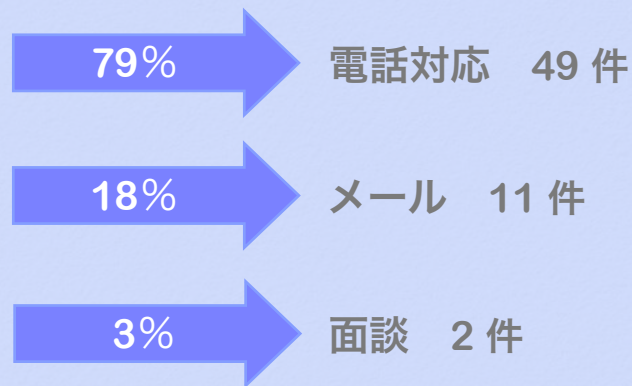
相談患者の疾患名

相談者の住所 -令和5年度-



対応方法 -令和5年度-

受付件数 62件



相談内容 -令和5年度-

(複数回答による)



- 肝炎医療コーディネーターについて
- 研修会について
- 市民公開講座について

相談事例

【B型肝炎訴訟について】

- ・ 弟（原告）、相談者（姉）母親はすでに死亡
- ・ Aクリニック（専門医療機関）にてHBV及びHCVを測定した。
その結果を弟に送ったところ、追加の検査（HBc抗体）が必要と弁護士事務所から書類が送られてきた。
- ・ Aクリニックへ依頼をしたところ、「検査方法を記載するには検査の機械が無いので書けない」と言われ、もっと大きな病院が良い」とB病院（専門医療機関）を紹介されたが、こちらでも拒否された。
- ・ 弟本人がCクリニックに受診歴があり、検査はどこでもできると聞いたのでお願いすると「かかりつけでは無いので書けない」と言われた。
また、弟が現在、D病院（専門医療機関）に通院中なのでそちらにも電話したところ、検査は自費でできるが書類を書く人がいないと言われた。
- ・ 上の娘が「久留米大学病院は肝臓の専門で、相談センターもあるので電話してみたら」と言ってくれ、昨日、下の娘が電話をかけたとのことであった。



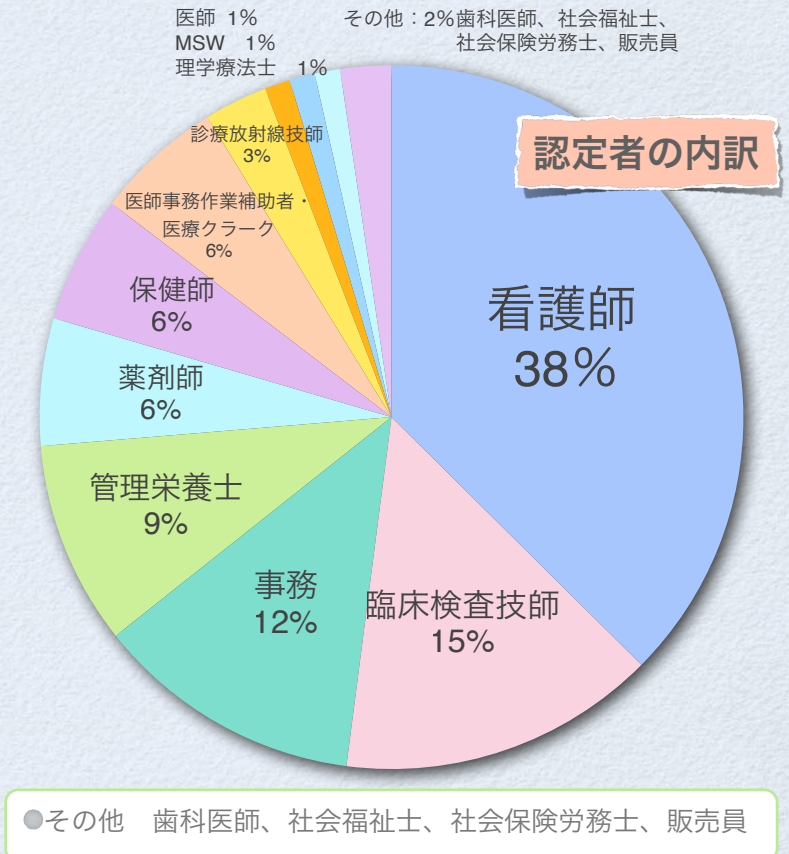
相談者はどこも対応してくれず、途方に暮れていたとのこと。
「病態にかかかかる診断書」は拠点病院、肝疾患専門医療機関、がん診療拠点病院（肝がんのみ）のみ記載可能であり、専門医療機関が拒否する理由は見当たらない。

肝炎医療コーディネーター認定者 -令和5年度-

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

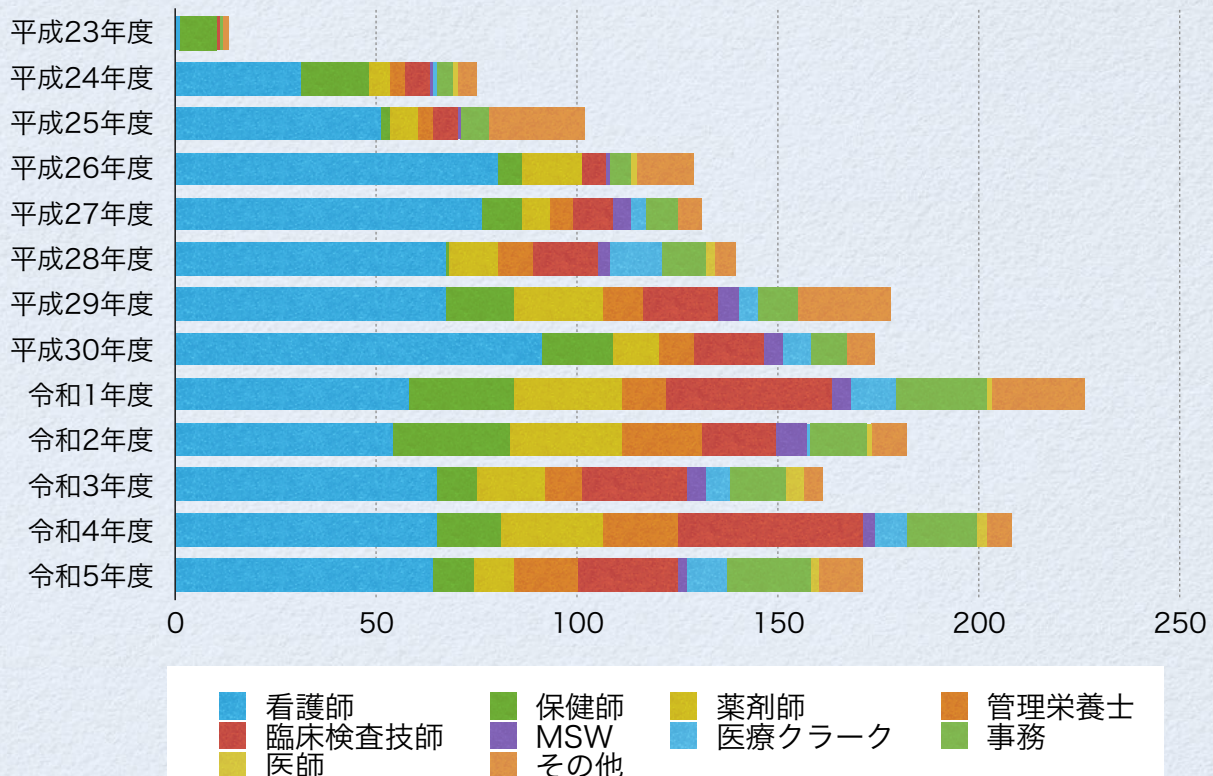
認定者数 計171

職種	認定者数
看護師	64
臨床検査技師	25
事務	21
管理栄養士	16
薬剤師	10
保健師	10
医師事務作業補助者・ 医療クラーク	10
診療放射線技師	5
医師	2
MSW	2
理学療法士	2
その他	4



肝炎医療コーディネーター認定者内訳 平成23年度～令和5年度-

総認定者数1899名



福岡県肝疾患専門医療機関連絡協議会 -令和5年度-

2024.1.24 開催：福岡市

司会・講演：福岡県肝疾患相談支援センター センター長 井出達也

1) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について

講演：福岡県がん感染症疾病対策課

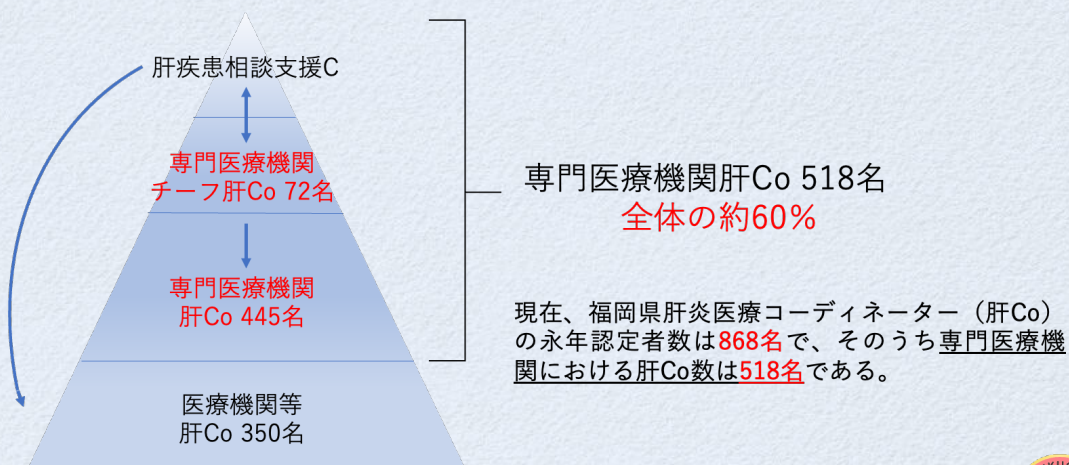
久留米大学病院 肝疾患相談支援センター 副センター長 天野 恵介 先生

2) 事前アンケート集計結果について

3) 肝炎医療チーフコーディネーターの設置について

講演：久留米大学病院 肝疾患相談支援センター センター長 井出 達也 先生

福岡県肝炎医療コーディネーター 肝炎医療チーフコーディネーター制度（チーフ肝Co）の設置について



✓永年認定者が受講するフォローアップセミナーでの「肝Coとして実働できているか」の問いに対し、全体の約70%が「活動できていない」と回答している。

✓「院内において誰が肝Coなのか分からない」や「院内の他の肝Coと一緒に活動したい」との意見が寄せられている背景があり、来年度より専門医療機関において

「チーフコーディネーター」

を設置することにより、肝Coの実働を支援する。



【参考資料・事前アンケート】

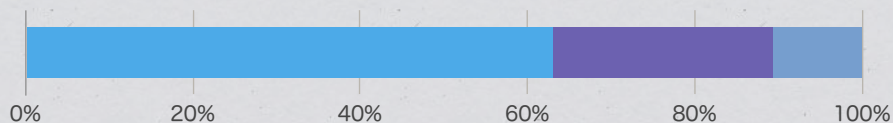
令和5年度福岡県肝疾患専門医療機関連絡協議会

2024.1.24

専門医療機関72施設対象 事前アンケート回答：65機関

Q.貴院は肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業へ参加していますか？

登録医療機関52機関/72機関中



Q.これらの事業の相談窓口や担当者を設置していますか？



Q.事業の導入について、工夫されていることや困っていることはありますか？

【工夫点】

- ・患者さんへの返答を早く行うことに努めている
- ・現在、院内での肝炎に関する窓口を1本化するために調整中
- ・医師を中心に活動している

【参考資料・事前アンケート】

Q.事業の導入について、工夫されていることや困っていることはありますか？（続き）

【困っている点】

- ・当院はアルコール性が多く、対象者がいないことに困っている
- ・助成の仕組みが難しいと患者様によく言われている
- ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業を患者が申請しているかどうか分かりません
- ・効率的な対象患者の拾い上げについて
- ・説明の時間がかかる
- ・以前は肝臓外来を設置していたが今は総合内科となっているため、他の診療と一緒にとなっており、患者への案内が難しい
- ・対象者の絞り込みが難しい
- ・導入がうまくいっていない
- ・事務処理が煩雑で説明にも手を取られており、職員からは不評です
- ・肝炎の医療証ができるまで2ヶ月程度かかるので、保険請求がその間できず保留の状態になる高額なため、病院によっては経営を圧迫することがあるのでは？
- ・用紙作成が大変

Q.こちらの事業に参加していないのはなぜですか？

- ・対象となる患者が少ないので
- ・当院が対象とならないのでは？（治療内容で）
- ・治療が行えていないため
- ・肝がんの治療を行っていない
- ・検討中

【参考資料・事前アンケート】

Q.こちらの事業に参加していないのはなぜですか？（続き）

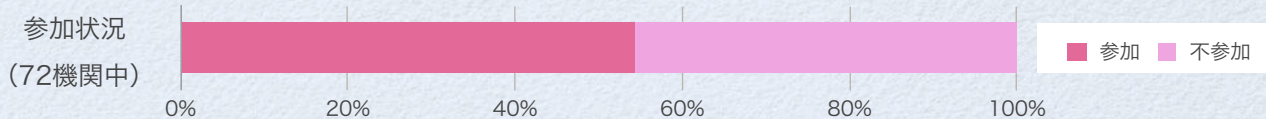
- ・人員不足。経費の問題。
- ・導入がうまくいかず、全体に周知して頂くのが難しい
- ・対象者（患者）が少なくなったため
- ・医師体制の課題があるため
- ・存じ上げませんでした
- ・肝臓内科・外科はあるのに、外来や総合受付にコーディネーターがいないから

Q.その他の意見

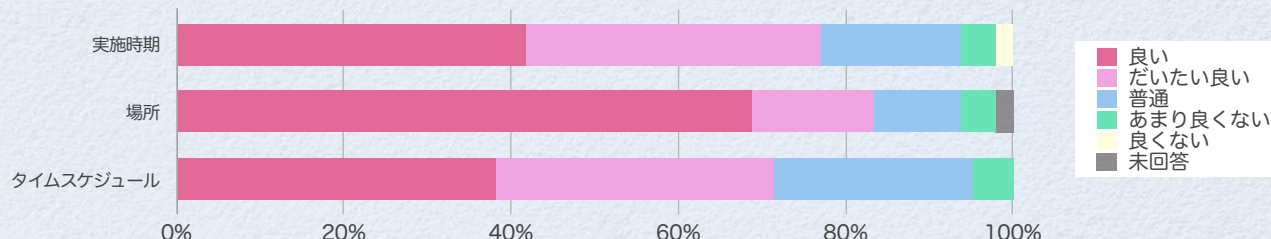
- ・協議会の開催時間18：30～だと早すぎて出席できません
- ・必要であれば参加します
- ・当院は症例がありません
- ・当院は事業へ参加しているものの、ウイルス性肝硬変で対象になる治療となると、大学病院で行なっていることが多く、重度肝硬変でもウイルス性でないという場合ばかりでなかなか実際に行うに至らない
- ・保険請求に関する注意事項があれば伺いたいです
- ・制度がもう少し簡略化できませんか？

福岡県肝疾患専門医療機関連絡協議会 –令和5年度–

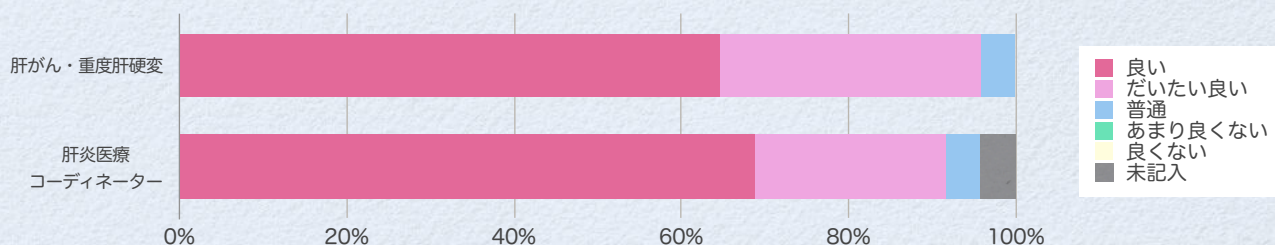
2024.1.24 開催：福岡市



Q.本日の協議会についてお聞かせください

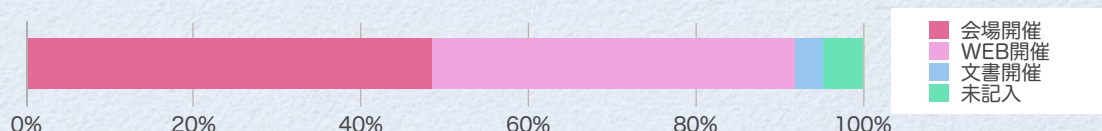


Q.協議会の内容（議題）はいかがでしたか

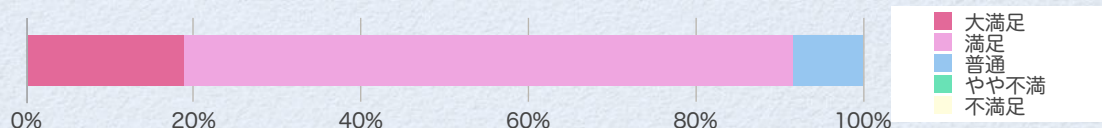


福岡県肝疾患専門医療機関連絡協議会 –令和5年度–

Q.開催方法についてお聞かせください（複数回答）



Q.本日の協議会の満足度



◆ 本日のご感想、今後取り上げてもらいたい議題について

- ・全体的に勉強になりました。特に柳川病院の取り組みなど、他院の取り組みを知りたいです。
- ・指定医療機関にもかかわらず、申請に関わっていなかったこと反省の会だった。今後はまずリスト化し、このような事業を患者様にはもちろん医師にも声かけていこうと思う。本日は本当にありがとうございました。
- ・WEB開催やハイブリッド開催も検討いただきたい。今日の様に雪や台風などもあるため。医療助成ですが、肝炎の方の定期検査助成との違いがよく分かりません。入院治療又は外来定期受診とで使い分けるといっていいのでしょうか？
- ・雪でどうなるかと思いましたが、無事参加できて良かったです。重度肝硬変の認定基準が広がったので再度見直しをしてみようと思います。
- ・実施時期はできれば金曜日がよい。
- ・もう少し開始時間が遅いと助かるのですが。19:00からとか。
- ・18:30開始ですと、なかなか参加が難しいです。内容は非常に勉強になりました。
- ・職場の肝Coを把握できていなかったのが良かった。
- ・施設毎の資料を準備いただき、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・MAFLD/MASH等、これからの肝炎についての県としての方向性